

【学校教育目標】
郷土に根ざした
健全な児童の育成
【めざす学校像】
みんなの笑顔があふれる
周布小学校
【めざす子ども像】
学ぶ子
育つ子 進む子



浜田市立周布小学校
浜田市周布町463-3
電話 0855-27-1006
FAX 0855-27-4724

今年度も

残り一か月です

一月は行く、二月は逃げる、三月は去るとはよく言ったもので、ふと気づくと今年度も残り一か月余りとなりました。

様々な感染症が流行し、学級閉鎖等も行いながらの今学期です。子どもたちだけでなく、大人（職員）も体調不良でお休みさせていただく者も続出しています。

次の学年の準備としての「0学期」はいかががでしょうか。ご家庭や地域で、周布っ子たちの成長を実感しておられるでしょうか。

このお便りを作っているのは、学習成果発表会の直前発行のころには、無事終了していることを祈りつつです。六年生はもちろんです。

今年度終了までのカウントダウンカレンダーを作っている学級がいくつかあります。ただ終わりをカウントダウンするのはなく、今年度終了時点での自分たちのあるべき姿をイメージしながらカウントダウンしてもらいたいですね。



大谷グローブ公開

報道でも大きく取り上げられていた、メジャーリーグの大谷翔平選手から「野球やろうぜ」のメッセージと共に三個のグローブが届きました。



大谷選手の意向では、しっかり使ってほしいということでしたが、二五〇人もいる周布小学校です。ある程度のルールの下で、みんなに使ってもらいたいのです。そこでこんな話を全校にしました。

○各学級を順番に回して、見たり触ったりはめてみます。

○授業公開日に展示をして保護者の皆さんにも見てもらおう。

○ルールを決めて、どんどん使う。

そしてルールに関しても

次のように伝えました。

○野球だけでなく、すべてのスポーツはルールを守ってプレイするもの。
○学校生活でも地域でも様々なルールがあること。
○それらをしっかりと守ることを考えてほしい。

先月号で「校庭でサッカーをしている子どもがいない」という記事を載せました。たくさん遊び道具を貸し出しているのですが、一時期使い方や返し方がなかなか徹底せず、道具の破損や紛失が相次いだのです。このような状況がしっかりと解消しないと、せっかくの贈り物も同じ

道をたどりかねません。これを機会に今一度守るべきルールについての話を各学級でも行いました。

スポ少など習い事などの場面では守れるルール。どんな場面でも守れるはずですよ。スポ少などの指導者の方とお話した時にも、「それも含めて育てたいと思っています」と口々におっしゃっていました。

大谷選手の64の窓（マンガラチャート）の取組の中にも「人間性」や「態度」についての記載があります。心と身体、そして技の成長をバランスよく。

【3月の主な行事】

- 6日(水) 委員会活動
- 7日(木) 読み聞かせ
薬物乱用防止教室(6年)
- 8日(金) 6年生感謝会
- 15日(金) 卒業証書授与式
- 22日(金) 終了式、離任式

※詳細については学年だより、学級だより等でお知らせします。



より良い周布小に

卒業まで残り少なくなつた先月のある日。六年生が、「今の周布小学校、このままでいいのだろうか。」「五年生と一緒に考え直したいんだ。」ということ、高学年集会を開きました。

六年生がとらえている現在の周布小学校、これからの風にならなくていいか、自分たちも取り組んでいくので五年生もいっしょに頼む…といったとても心強い会でした。



そんな六年生も先日卒業写真の撮影が終わり、旅立ちの日が刻々と近づいてきています。

昔遊びの会

一年生の生活科の学習の一環で、地域ボランティアの方にたくさん来ていただき、「昔遊びの会」を行いました。



竹馬、コマ回し、メンコ、あやとり、おはじき、だるま落とし、竹とんぼ、お手玉、けん玉などのブースを設けて、それぞれに地域ボランティアの方についていただきました。子どもたちは、いろいろなコツを教えていただきながら楽しんでいま

た。ふと気づくと、教えている地域の皆さんも、担任はじめ職員も夢中になって楽しんでる姿がありました。そして、どの遊びも「自分で作りもできること」だったと思います。どんなに世の中が進んでも大切にしたいところです。



バースデープロジェクト



二月七日(水)に三年生がバースデープロジェクトを行いました。当初の予定では、授業公開日に保護者の皆さんと一緒に実施するはずでしたが、延期になりました。助産師さんに来ていただき、紙芝居や人形を使って、紙わたりや説明をしていただき、一人一人のかけがえのない命について考えることができました。誰もがかつては赤ちゃんであったこと、そして誰もが歓迎でここに生まれてきたこと。あたりまえだけど忘れがちなことを思い出させてもらう時間でした。(親目線としてですが)



◆自分のことを何か他人から指摘されるのは、あまり気持ちのいいことではない。往々にして凶星である場合が多いからだ。いわゆる「痛いところを突かれる」のである。◆しかしそれを受け止め、受け入れることで、人は変化し、成長もする。「過ちを改めざるを過ちと云う」である。◆成長過程である子どもたちはもちろんたくさん失敗する。すればよい。ただそれを認め、改めることができにくいケースによく出会う。ほんの些細なことでも立ちどころに沸点に達するようである。◆「ろうかは歩きましたよ。」「職員室に入る時、帽子は取ります。」「五時には家に着いてないといけないので、そろそろ帰りましょう。」◆これらの声がけにどんな言葉が返ってくるのか。(興味がある方は校長までお問い合わせを)そもそも沸点に達するような内容だろうかと感じる。◆走るのを止めて歩けばよい、帽子を取ればよい、片づけて帰り始めればよい。至極単純な話。◆何が沸点にまで達させるのか。あるいは沸点などではなく、まさかの常温なのだろうか。◆